

情報可視化のビジネス管理への活用

筑波大学システム情報系 三末和男准教授

アピールポイント

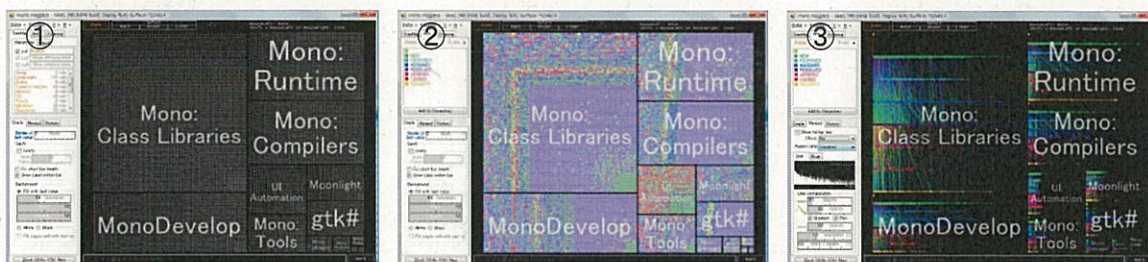
ソフトウェア分野で情報可視化を研究している。情報を視覚的に人に見せるための技術である。データを単に図示するだけでなく、知識として読み取れる可読性を大切にして、新たな技術を追及している。

研究の背景

大企業では一年間に数千件を超えるプロジェクトが進行している。管理は各事業部など現場で行い、商談→受注→製造→納品→保守などの進捗はまちまちで、金額の大小も様々である。そこで、情報可視化の技術を活用し、取締役など幹部がプロジェクトの全体状況を俯瞰できることを目指した。

視覚的分析ツールSaaG(サーグ)の概要

研究対象としてオープンソースソフトウェアの開発管理に利用されているチケットのデータを使用した。作業単位毎にチケットが発行されており、その進捗状況をネットで入手することができる。本研究ではこのデータを分析するツールを開発した。製品別、状況別、担当別などの分類で階層構造をつくることができ、ツリーマップと呼ばれる図でその構造を参照できる(図①)。また、進捗状況を棒で表現し(ガントチャート)、現状を色付けした図にすると、プロジェクト全体の状況、動きの違いが見て取れる(図②)。また、進捗状況を折れ線で表現し、重ね合わせると動きのパターンが見え、全体の傾向がわかる(図③)。チケットデータを対象として開発したが、同様のデータであれば、適用可能である。



研究者の紹介

氏名 三末和男

取得学位 博士(工学)(1997年東京大学)

職歴 2007年4月～筑波大学准教授

現在のその他の研究テーマ

時間変化によるイベント発生可視化

<http://www.cs.tsukuba.ac.jp/~misue/>

お問い合わせ先 筑波大学 産学リエゾン共同研究センター(ILC)

Email tlo@ilc.tsukuba.ac.jp Fax 029-853-6565

お問い合わせ内容は、下記「科学技術相談申込書」に記載して送信して下さい

<http://www.ilc.tsukuba.ac.jp/TLO/cons.html>